第２４回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和元年８月２０日（火）　１８：３０～２０：００ |
| 開催場所 | 登別市役所本庁　第２委員会室 |
| 出席者 | (部 会 長)山下　克彦　（副部会長）谷﨑　博美(部 会 員)荒川　昌伸、工藤　保秋、西尾　拓也(庁内委員)相馬　裕一、佐藤　智 (事 務 局)大越　智輝、今野　沙弥 |
| 欠席者 | なし |
| 議題 | 道の駅建設について |

 会議の要点

～「道の駅建設」について、基本的な部分の説明を都市整備部から行った後、意見交換を行った。～

【道の駅の説明】

〇道の駅の目的

・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供

　・地域振興に寄与

　〇施設

・駐車場・トイレ（無料で２４時間利用可能）

・情報発信機能

・地域連携機能

・駐車場、休憩施設、トイレ、情報提供施設は基本的には道路管理者が整備。

　・第２駐車場、地域振興施設は、市町村等が整備

　・道路管理者が整備する部分を市町村等で整備するという「単独型」という整備手法もある。

　・設置者は、市町村または市町村に代わり得る公的な団体

・都道府県

・地方公共団体が３分の１以上を出資する法人

・地域を代表して「道の駅を設置するにふさわしい　　として市町村が推薦する団体

・今現在１２２ある道の駅のうち、設置者が市町村以外の駅は１駅で、ほとんど市町村が設置者となっている。

・経営は、１２２ある道の駅のうち、自治体１０％、民間企業５８％、第３セクター３０％、公益法人２％となっており、全体の８８％が民間企業または第３セクターが管理運営を行っている。

・道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、情報発信施設整備等は社会資本整備総合交付金という補助金が活用可能。国道であれば国、道道であれば北海道が活用する。

・その他、国土交通省をはじめとする各関係省庁が様々な政策を準備し、道の駅の整備に関する事業への支援制度を準備している。

・市街化調整区域に係る開発行為については、法の定める要件に該当する場合において、申請手続きが必要となるが、「道の駅」が要件に明記されていないため、北海道との事前協議が必要となる。物販をする場合など、内容によって違ってくるため、具体的なことが決まらないと市街化調整区域に建設が可能かということはわからない。

【道の駅建設に係る意見等】

（場所について）

・交通の便が良い所となると国道沿い。

・マリンパークの近辺はどうなのか。相乗効果も高いと思う。

⇒以前、そういう話も出ていたようだが、土地の面積が足りないという話になった。

⇒マリンパーク前の広場は公園として位置づけられているため、そこを外さなければならない。

・婦人センター跡地に建てるのはどうか。

⇒国道沿いで、マリンパークも目の前にあるため、集客力があると思う。

⇒婦人センターも伏古別川が通っているため、そこまで面積は大きくな

い。

・大型バスが入るとなると、国道や高速道路などからつながるアクセスが良い所が良い。

（中身について）

・登別の特産品はたくさんあるが、どこで買って良いのかわからない市民がたくさんいる。道の駅に行って、いつもそこに売っているとなれば買いやすい。

・海産物を売るとなると、昨日はあったけど今日はないということが当然発生する。それを理由に来なくなる人もいるため、海産物を売りにするのであれば、工夫が必要となる。

・室蘭の道の駅は、最近食堂がリニューアルされて、食べ物がおいしいということで、また最近にぎわってきている。何か目玉があれば良い。登別も見直せばもっと目玉があるのではないかと思う。

（今後の進め方について）

・以前、道の駅の話があって、九州まで視察に行っている経緯もある。過去にどのような動きがあって、なぜ立ち消えたのかという話を聞きたい。

・観光経済部に、今後道の駅の話を進められる脈があるのかないのかを聞いて、方向性を探りたい。

・次回は、観光経済部の道の駅の話か、総務部の本庁舎建て替えの基本計画中間案の話かで、先にまとまった方に来てもらって、部会を開催することとする。

【次回開催について】

　時期未定（９月以降、総務部・観光経済部と話がまとまり次第開催）